

車両検知システム (PR-11BE)



赤外線センサー 2組
(リフレクター・センサー)

方向判別ユニット

特徴

工事車両の運行安全管理に

- ◆ 工事車両が工事現場出入口から一般道へ出る際に、回転灯を回す事で、一般車両との接触事故や歩行者との接触事故を防止します。2組の赤外線センサーを使い、車両の通過を方向別に検知します。
- ◆ 片側配線で使用できるため、両側配線が困難な場所でも使用できます。投光部・受光部が一体化された反射型センサーですので、配線工事はセンサー本体のみです。光軸調整もセンサー側1箇所のみで簡単に調整できます。照準器及び、付属の減衰シートと受光感度表示灯で光軸調整センサーを行います。センサーは屋外利用時で検知距離10mです。
- ◆ 車両検知時の回転灯の点灯時間を、最短2秒から任意に設定することができます。

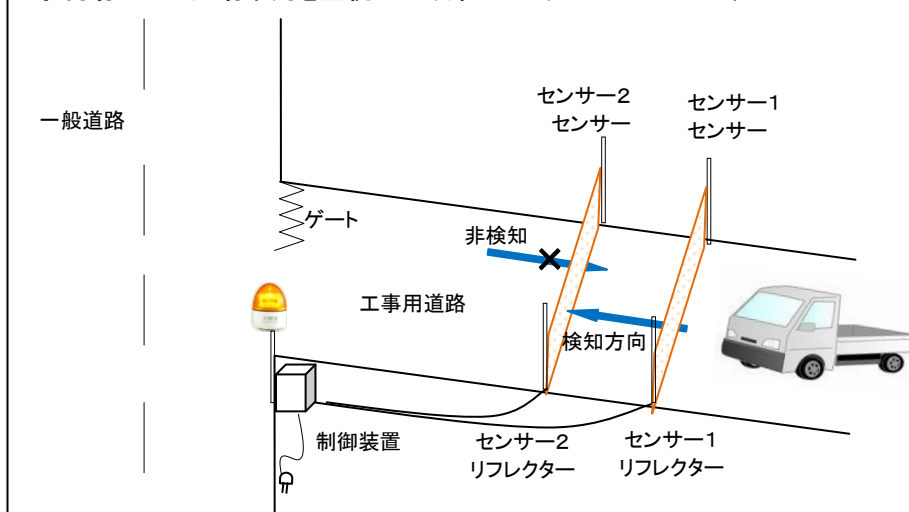
仕様

検出方式	近赤外線ビーム遮断方式 (反射型)	
検出距離	屋外 10m	
検知応答時間	遮光時間: 0.05~0.7秒 (ボリュームにて可変) ※赤外線ビームが遮断される時間	
方向判別タイマー	1・2・5・8秒 (4段階) ※2組のセンサー間を通過する時間	
警報出力	単色回転灯 回転時間: 2秒~任意設定	
使用可能周囲温度	-10℃~50℃	
使用電源	AC100V もしくは DC ※仕様により異なります。	
大きさ・重さ	赤外線センサー	約 73 (W) × 71.5 (D) × 170 (H) mm 約 430 g
	リフレクター	約 93 (W) × 100 (D) × 231.5 (H) mm 約 490 g
	方向判別ユニット	約 120 (W) × 42.5 (D) × 155 (H) mm 約 310 g
	※方向判別ユニットは、別途収納ケースに格納いたします。	

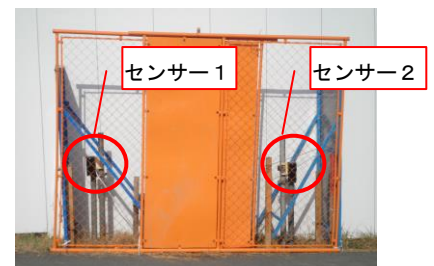
※検知方向 (片側検知、二方向検知)、電源等の仕様はご利用状況により異なります。
別途お打合せの上、確定させていただきます。

《設置例》

工事現場からの出場車両を監視して外部にパトライトで知らせます



センサーを正対するように設置します。



※センサーは道路幅最長10mに渡り赤外線監視をしています。
センサー1 → センサー2 の順番で通過した車両のみを検知して回転灯を回します。